

# 12月16日投票日 日本を変える総選挙

# 伊那民報

発行  
日本共産党  
伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
有線7(72)2465  
ホームページ開設

### 増税・TPP・原発ストップを

## 共産党の大躍進で

国民の怒りに追い詰められた野田首相が、衆院を解散。総選挙は12月4日公示、16日投票と決まりました。

野田首相と民主党はもちろん自民、公明にも国民のきびしい審判は免れません。それは、公約違反の消費税増税は、自民、公明との

**ただちに街頭から訴え！  
北陸信越で議席を必ず！**

衆議院比例代表予定候補  
**藤野やすふみ**

### 東森西走記



決意表明する藤野やすふみ  
北陸信越ブロック予定候補

上越市内を街頭宣伝中に、野田総理が衆議院を解散しました。解散のニュースを受けて、訴

談合”で強行したものでからです。

日本共産党は、悪政がはびこる中「日本政治に衝撃を与える躍進を 現有9議席から18議席以上へ」と、15日、全国で一斉に街頭から政策と支持を訴えました。

伊那市でも、3人の党市議を先頭に支部員らも共に、市内4カ所

えにさらに力が入りました！

その中で、たくさんの激励をいただきました。

車内からの手ふりも多かったです。車の洗車をしながら演説を聞いてくれた男性は、「原発からの転換について、具体的な提案を初めて聞いた。こういう訴えをもっとやったらいいよ」との励ましを寄せてくれました。前向きな訴えが響いていることを実感しました。

必勝めざしてがんばります！みなさま、力強い応援よろしくお願い致します。

で宣伝しました。



また、9月末から各地区での演説会にも取り組んでおり、参加者からは「共産党は反対ばかりしていると思っただが、建設的な提案もしているんですね！」「消費税を上げなくても財政再建できると聞いて本当に気持ちが悪くなりました」「今度こそ大きくなってほしい」「勝つためにお手伝いできることはありますか？」などの声が寄せられています。

### 制度解説

日本を変えるチャンスです。前回、民主党に惑わされたように、いわゆる「第三極」に期待することなく、真に国民の立場に立つ政党、日本共産党と三沢よしおへの熱いご支持をよろしくお願い致します。

### 投票の順序

- 選挙区選挙で 三沢よしおと書きます
- 比例代表選挙で 共産党と書きます
- 「藤野やすふみ」は無効です

### 地蜂

ある仏教の研修会で、講師のお坊さんが、「私は少年時代に、将来は総理大臣になりたい、と言っていたものです。しかし今、一番なりたくないのは総理大臣です」と語っていました。国民多数の期待を集め、政権を握ったにもかかわらず、消費税アップをはじめ、次々と公約を破って突っ走っている政治家への批判を表明したものです。宗教界でも「原発からの脱却」が唱われ、人間の倫理に反する行為の戒めとして、政治家の背信行為が引き合いに出されるようになっていきました。しかし、こうした空気の広がり反面、いわゆる「第三極」の台頭、「決断の政治」「何かやってくれそつな人」という空気に住民自身が染まるという傾向も強まっているようです。政治不信や先行きの不安が広がる中で、地方重視、地域興しということが大いに強調されたのは、ファシズム台頭の「昭和史」の時代にも見られたことです。現代にも「中央集権反対、地方から攻めあげる」というかけ声にあおられつつ、実は、地域での本当の対決点から目をそらされ、腰が引けたままで、肝心なことは人任せといつことは、有り得ることです。最近「手良民報」を読む機会があり、その視点の確かさに感銘しています。祭りの衰退の背後に、若者の生活困難の打開の必要を見、年輩者の戦争体験の表明を、憲法9条の本当の理解へと結びつけている。この総選挙は、そつした地道な努力が、試され生かされる機会にしたいものです。(W)



10月28日 上の原公民館・大広間  
弁士は小林伸陽県会議員

# 総選挙目前

## 共産党の政策、支持訴える 各地の演説会で共感広がる



11月11日 高遠町福祉センター  
「やますそ」  
弁士は三沢よしお5区候補

12月16日投票の総選挙必勝に向けて、共産党伊那市委員会は、演説会やビラ配布など、政策宣伝と対話支持拡大に全力をあげています。演説会場では、質問に答える時間も取り入れる中で、共産党の政策に対する共感が広がっています。



絵入り資料を使って分かりやすく政策を訴える三沢よしお5区候補

11月18日 西箕輪老人憩の家

春富地域の演説会は11月25日午後2時から上伊那農協春富支所2階でおこないます。

### 新婦人創立50周年を祝う上伊那のみなさん

11月11日、上伊那の北から南まで7支部の仲間が、大芝高原研修センターにつどつて、新婦人創立50周年を祝いました。

それぞれの活動の交流をしたあと、創立当時からのお仲間さんの紹介がありました。半世紀の間、一生懸命、新婦人のタスキを渡し続けてくれた方々への、感謝の気持ちと敬意で心が一杯になりました。  
午後は、シャンソン歌手のkusuyooさんのコンサート。会場まわりの木々の紅葉を雨がしつとりとぬらし、大人の歌を聞くのにふさわしい雰囲気。kusuyooさんの歌

うシャンソンが心にしみました。私たちの心を、一層、豊かにしてくれたコンサートでした。何よりも仲間のみなさんと親しくお話ができ、活力をもらうことができました。この力で、新婦人の新たな発展を見据えた活動に取り組みしていきたいと思

いました。  
(唐木智恵子)



仲間の活動報告を聴く参加者

### 共産党の支部活動

#### 手良支部

区内の七箇所の掲示板に「赤旗写真コーズ」を必ず定期的に掲示しています。  
(T)

### 地域に責任を持つ支部として

この二年の間に支部の中心的なメンバーが二人亡くなり、重い病気の人も出てきて支部も高齢化の波をもろにかぶっておりませんが、出来るメンバーで頑張り、また仲間を増やすことも検討しています。支部では毎月、地域の新聞「手良民報」を発行し、今月で315号になります。この地域に責任をもつ支部として私達自身が地域のことを良く知らなければならぬし、まだまだ党に対して特別視する偏見を払拭するためにも身近な地域のことをお知らせするのを大事にしています。そのためにも支部会議では地域の動きや課題などを必ず話し合い、民報の記事を集めます。支部の団結のため会議のあとは会食し親睦を深めます。

この二年の間に支部の中心的なメンバーが二人亡くなり、重い病気の人も出てきて支部も高齢化の波をもろにかぶっておりませんが、出来るメンバーで頑張り、また仲間を増やすことも検討しています。



資料を見ながらの情勢討議

### ワークショップ 伊那市政を考える

10月24日、「のぞみの会」は、「あなたがつくる伊那市政 その2」と題して、公共交通網、ゴミ問題、医療・福祉について、現在の問題点や改善すべきことなどについて、活発な議論をおこないました。「会」では討論を継続しながら、市政改善に反映していきたいとしています。



熱心に討議する参加者

### 三峰川周遊ウォーキング

11月3日、上伊那医療生協主催の「三峰川周遊ウォーキング」が東春近の榛原河川公園をスタートしておこなわれました。秋晴れの中、リハビリ中の患者さんや職員さんたちも含めて、87人が参加しました。



準備運動をする参加者のみなさん

### 窓の市議

中学3年生までの通院費無料を答申

柳川 ひろみ

11月14日に開かれた伊那市医療政策審議会に議会代表で出席。市の福祉医療制度の対象年齢について市からの諮問を受け、2回の審議会で論議し、通院費無料（一部負担あり）の対象年齢を中学3年生までという方向で答申を出すことが全員一致で決まりました。答申は11

### 昭和初期の上伊那

## 2・4事件の頃 12

前号に続いて2・4事件のおきた一九三三年（昭和八年）頃の革新勢力の状況を見ることにします。

### プロレタリア科学同盟

一九一九年（昭和四年）東京で創立された科学的社会主義の理論の研究と普及の大家団体のプロレタリア科学研究所は、三二年にコップ（日本プロレタリア文化連盟）に加盟、三三年に日本プロレタリア科学同盟に発展した。



東京市電ストの炊き出し風景（昭和5年）

一月と翌年六月の相次ぐ検査で一日壊滅状態になりましたが、粘り強い再建努力の結果、「全協センイ長野支部仮常任委員会」を設置し、西箕輪の唐沢清直宅や富原村の山林の中で会議を開くなどして準備活動を続け三三年（昭和七年）十一月、伊那富村（現辰野町）吉原鉱泉で全協センイ長野支部創立大会を開きました。大会前に「全協センイ長野支部創立大会参加シマセウ」という文書で宣伝をしています。この当時のメンバーは次の方々です。

責任者 湯沢甲子三、調査 国永若男、財政 唐沢八重、事務局長 洪谷正則

組合繋系伊那社分会

洪谷正則、伊藤千秋、唐沢八重、鄭時鐘、中山雅美、白鳥静子、田中文子、伊藤峰子、武田こはる

宮田分会

国永若男、矢次次郎、小林要、太田泰三、奥村利正、太田ますよ

なお、武井製糸所（伊那富村）などにヒラの投げ込みや「張り込み配布」（特高文書の表現）など活発な活動を行って組織拡大を行っていたさなかに、翌三三年（昭和八年）の2・4事件の弾圧を受けてしまいました。（文中敬称略） 境区 有賀光良

全協 1928年12月に結成された日本労働組合全国協議会のこと。弾圧のため6年間しか活動できなかったが、長野県では一般使用人（教育労働者組合）、織維、土木建築、交通運輸、出版、通信などの単産支部が非公然で活動してきました。

西春近の坂井喜夫は諏訪地方の玉木和喜衛などと「科学同盟南信支部準備会」を結成したが、本部が弾圧されたため、組織活動としては発展しなかった。しかし、機関誌「プロレタリア科学」の読者は広がり、三三年末には伊那町に支部が二つもできていました。

○部 北村 浩

五部

全協織維上伊那地区

### 伊那谷の歴史散歩

全協織維長野支部は一九三二年（昭和六年）十



月末に市へ出す予定。新年度に白鳥市長が予算を付ければ実施となります。論議の中で「手術とか検査をするという時に、費用を考えて躊躇（ちゆうちゆう）されるお母さん方もいる」「虫歯が本当に悪くなつてから歯科に連れてくるケースがある」という医師の意見がありました。一日も早い実現を望みます。

# 随想

## 家族の絆・家族新聞 「全国家族新聞交流会」に参加して

高遠 石川 博

第11回全国家族新聞交流会が、浜名湖の畔で開催されました。交流会に参加するのは今回で4回目となります。家族新聞を発行している仲間が集まり、家族新聞を発行しはじめたきっかけや、新聞への思い、また、苦労などを話しながら交流をおこないました。

北海道・青森・新潟・富山・東京・京都など各地から30名余の参加でした。新聞を発行し始めた方、数十年も発行している方、そして、発行方法も手書きあり、パソコン作成ありと、それぞれの家族の特色を感じ、家族新聞の良さを改めて感じました。

我が家の家族新聞創刊は1983年4月、長男の小学校入学の年に、子供達の成長記録にと毎月発行を始めました。現在は264号の発行となりましたが、子供達も成長し、家庭を持ち家族を抱える立場となった事もあり、いつしか毎月発行から年数回の発行に変わり、また、子供中心の記事から孫の記事が多くなってきました。

数年前、縮刷版を作りましたが、これは我が家の宝となりました。家族新聞は家族の歴史、絆、家族として共に過ごした喜びや悲しみまで残る貴重な記録となっています。

これからも出来る限り発行を続けたいと思っています。そして来年は新聞発行30周年。家族でお祝い出来ればと考えているところです。そして、家族新聞での交流家族がこの伊那谷でもあればいいの、と思っています。

# 催し案内

# 絵手紙

西箕輪 荒 恵子



## NEC住民訴訟第7回裁判

12月6日(木)午後4時半・長野地裁  
市役所西側駐車場 2時発  
連絡先：市川 73 - 2928

## 上伊那平和のつどい

12月7日(金)午後7時(6時半開場)  
南箕輪村民センター(村役場となり)  
・原爆パネル展示  
・2012年原水禁世界大会報告  
・記念講演

丸山 稔さん(県原水協事務局長)  
「核も安保もない世界へ」

主催：上伊那原水協・上伊那母親連絡会  
連絡先：馬場 090 - 3558 - 5360  
山崎 73 - 5360

## 総選挙投票日

12月16日(日)  
政治を変えるチャンスです

## 日本共産党大演説会

12月8日(土)午後6時30分開会  
県伊那文化会館大ホール  
・党書記局長 市田忠義  
・比例代表候補 藤野やすふみ  
・長野5区候補 三沢よしお

お話し

お車のない方は、党市議またはお近くの党員までご連絡ください。送迎いたします。

上伊那地区委員会ホームページ作成!

「JCP上伊那」で検索すると出てきます。是非、ご覧ください。